品番

PIA-W型

家庭用

蒸気レス VE電気まほうびん

コードレスタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

蒸気が外に出ない! 蒸気レスとく子さん
上手に使って、省エネ生活をはじめましょう

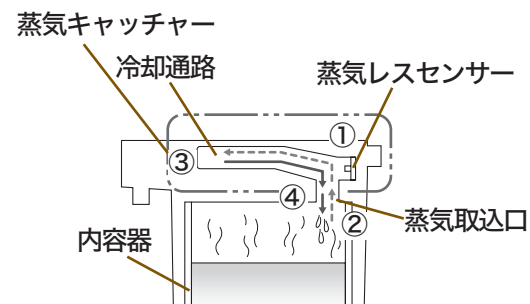
蒸気が外に出ない蒸気レス

この製品は、蒸気を本体の外に出さない構造のため、蒸気孔がありません。

- ●蒸気が外に出ないため、うっかり蒸気孔から出る高温の蒸気にふれて、やけどをするおそれがありません。
- ●蒸気による結露の心配がないため、置き場所がより自由に選べます。

蒸気キャッチャー構造のしくみ

①沸とう時に出た蒸気を、搭載された蒸気レスセンサーが、すばやく感知し、最小限の蒸気量に抑えます。このため、無駄な量の蒸気を発生させません。
②沸とう時に出た蒸気は、蒸気取込口からふた内部の蒸気キャッチャーに入ります。
③蒸気が蒸気キャッチャー内の冷却通路を通って、冷やされます。
④冷やされた蒸気は結露し、水滴になり、もとの冷却通路から内容器に戻ります。

蒸気は本体の外に出ません。
蒸気レスを行うための操作や蒸気キャッチャー内のお手入れの必要がない構造です。

うれしい省エネ効果

低めの保温温度やまほうびん保温を選ぶ →P.12

- ●低めの保温温度を選ぶと、高めの保温温度に設定しているときよりも、電気代が節約できます。
- ●まほうびん保温を選ぶと、沸とう後ヒーターが自動的にOFFになり、まほうびん構造によって保温しますので、電気代が節約できます。

省エネコースで省エネ湯わかしや省エネ保温→P.18

- ●省エネコースを選んでお湯をわかすと、沸とうする前にヒーターを切り、保温します。
- ●省エネ保温は、しばらくポットを使わないと、自動的に保温設定温度より約5度低い温度で保温しますので、電気代が節約できます。

寝る前や外出前に節電タイマーをセットする →P.20

- ●6時間から10時間まで1時間きざみで5段階にセットできます。
- ●セットすると自動的にヒーターがOFFになり、まほうびんで保温しますので電気代が節約できます。

もくじ

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[*1]を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定される内容を示します。

＊1　重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

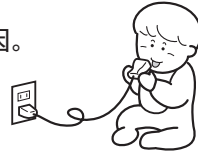
△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⊘記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。
沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠注意

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

⚠警告

改造はしない。
修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。

交流 100V 以外では使わない。（日本国内 100V 専用）
火災・感電の原因。

定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）火災・感電の原因。
電源コードが破損した場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先→**P.33**」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご連絡ください。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

器具用プラグ（磁石式）の先端に、ピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、水が給水マークより少ない場合は、内容器の変色・故障のおそれ。

ふたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

安全上のご注意

⚠警告

ポットを転倒させない。

「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電・発火のおそれ。

ふたをつけたまま、残り湯をすてない。

ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。（残り湯のすてかた→P.23）

ふたパッキンが白く変色したら交換する。

倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

通気孔、通気弁の中に異物を入れない。

お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。

〈異常・故障例〉

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

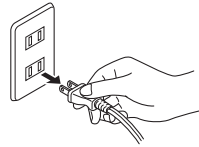
すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

⚠注意

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火するおそれ。

この製品専用の電源コード以外は使わない。電源コードを他の機器に転用しない。

故障・発火のおそれ。

タコ足配線はしない。

火災のおそれ。

水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。

ショート・感電・故障の原因。

蛇口から直接水を入れない。

本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

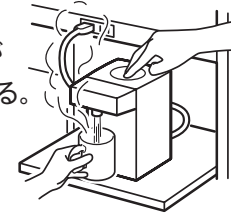
本体の上に水の入ったコップや花瓶など物を置かない。

本体やものが変形・変質したり、火災の原因。

また水がこぼれた場合、感電・火災・故障の原因。

差込プラグに蒸気をあてない。

火災・感電・発火のおそれ。

スライド式テーブルでは、給水や給湯時に、差込プラグに蒸気があたらないようにする。

ふたを開けたりはずすときに出る蒸気や露にふれない。

やけどの原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。

お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を回さない。

お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。

やけどの原因。

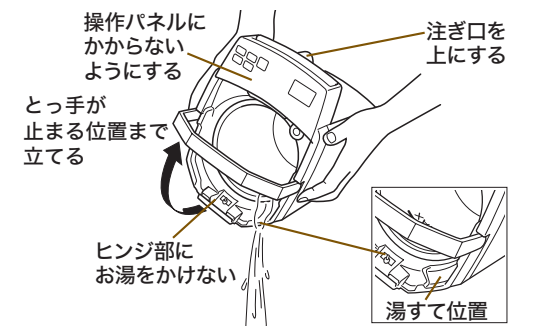
本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。

ふたが開いて、けがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。

高温部にふれ、やけどのおそれ。

残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からゆっくりとすてる。**→P.23**

別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。また、やけどのおそれ。とっ手は必ず止まる位置まで立てておいてからすてる。

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。

ショート・感電・故障の原因。

本体をさかさにして置かない。

故障の原因。

末永くご使用いただくためのご注意

●火気の近くでは使わない。

変形・故障の原因。

●直射日光が長時間あたる場所では使わない。

本体が熱くなるなど、故障の原因。

●カラだきをしない。

水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

●備長炭などの炭を入れて使わない。

故障、フッ素加工のはがれの原因。

●凍結するおそれのある場所に、通電を切った状態で長時間放置する場合は、必ず内容器の水を完全にすてておく。

凍結による故障の原因。

各部のなまえ

箱をあけたら、まず確認しましょう!

ふた

通気パッキン
取りはずし
できないので
無理に
引っぱらない。

通気孔

蒸気レス
センサー

湯すて位置

とっ手

内容器

底部
360度回転します。
※回すときは、器具用プラグ
がはずれないようにする。

ふたパッキン

センサーパッキン
取りはずし
できないので
無理に
引っぱらない。

ヒンジ部

満水目盛

通気弁

注ぎ口

水量表示計
（バックライト水量計）

水位ライン

給水マーク
ここまで減る前に
水を入れる。

通電中は、水量表示計が点灯してお湯の残量を見やすく表示します。常時消灯することもできます。

水量表示計のバックライトの消しかた・つけかた

長押し（2秒）

まほうびん

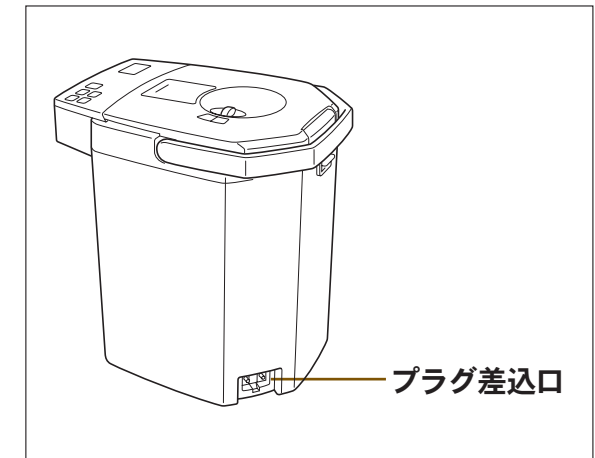
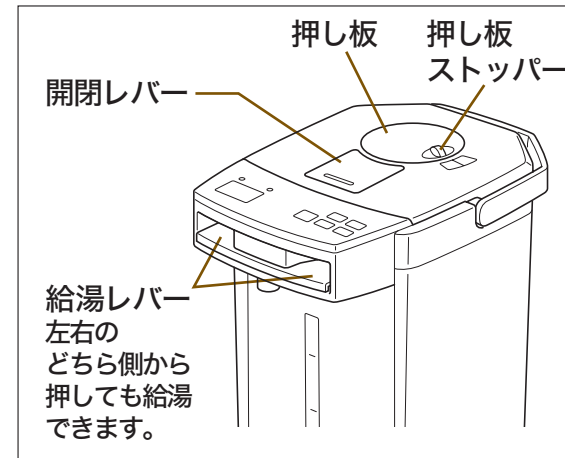
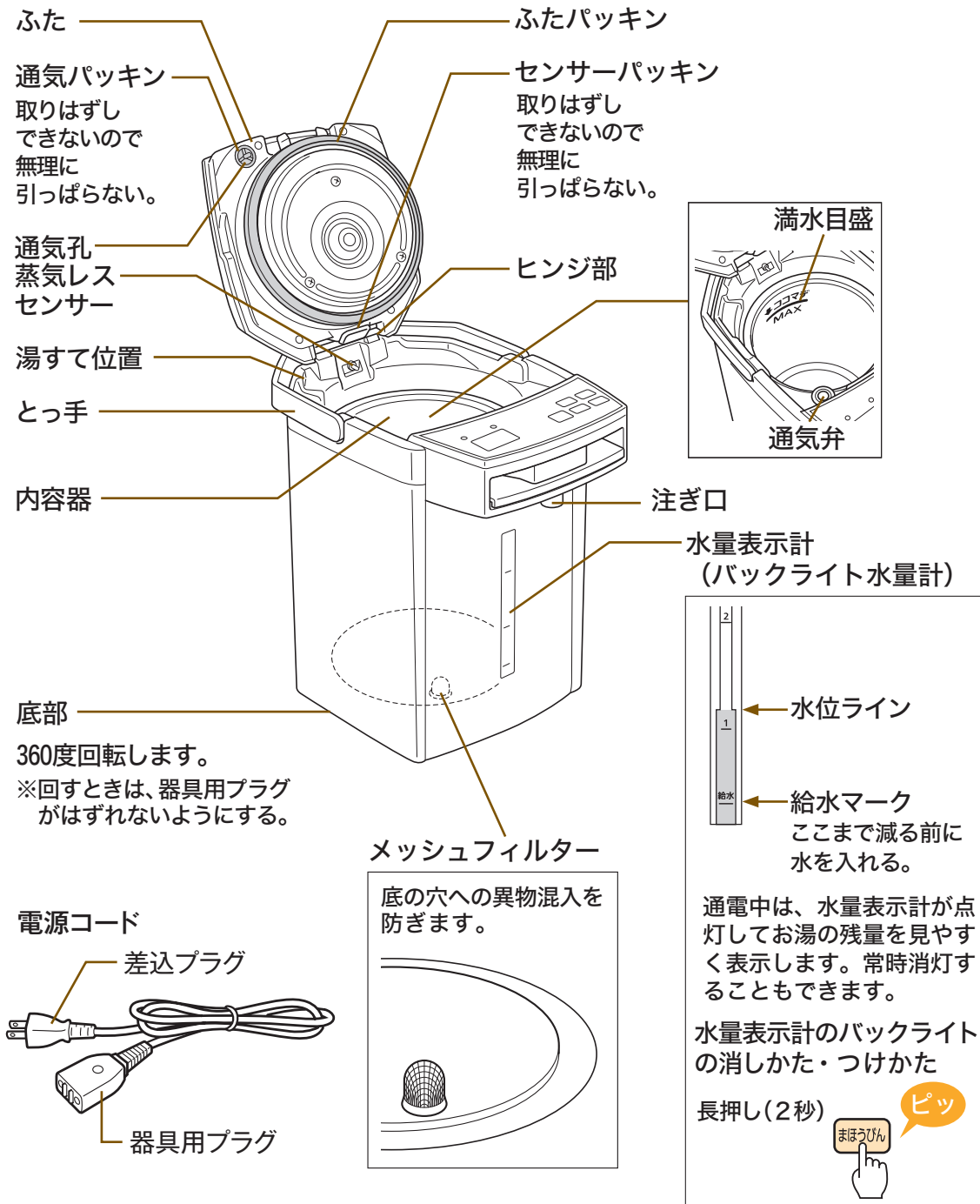
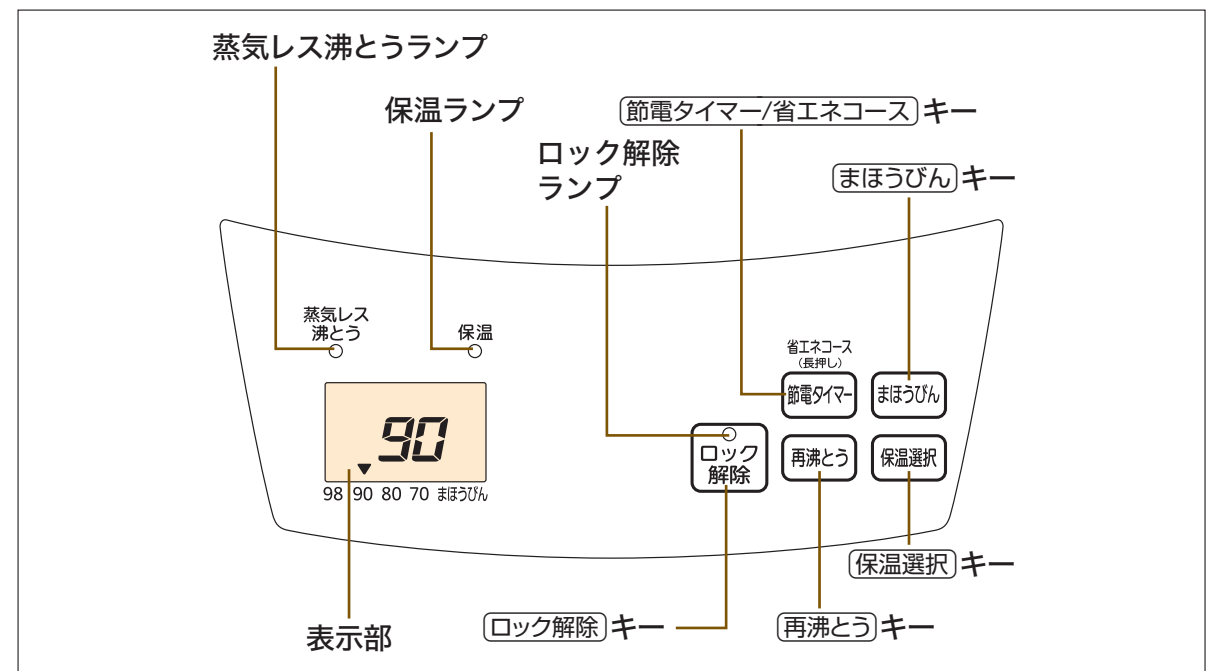
ピッ

メッシュフィルター

底の穴への異物混入を防ぎます。

電源コード

差込プラグ

器具用プラグ

操作パネル

はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

本体内を洗浄するために、次の手順で、お湯をわかしてすてる。
使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

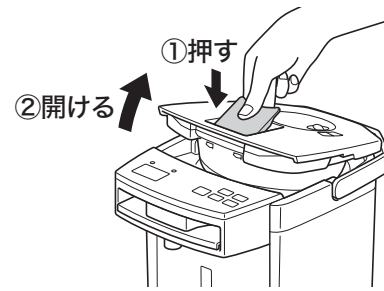
1 満水目盛まで水を入れ、お湯をわかす。→**P.10**

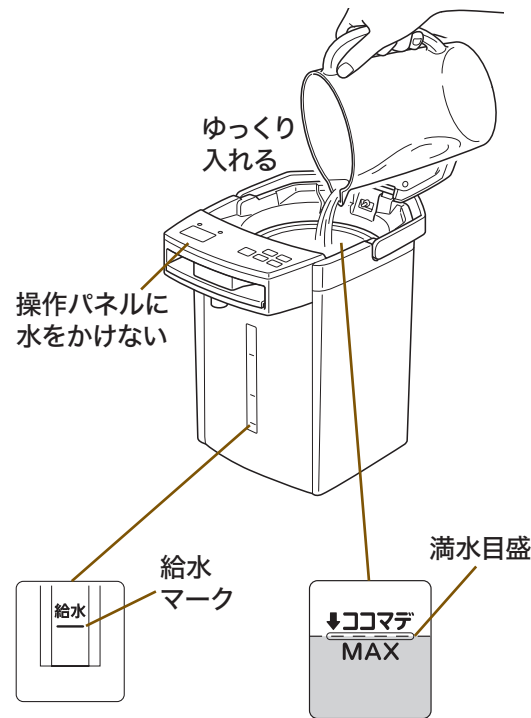
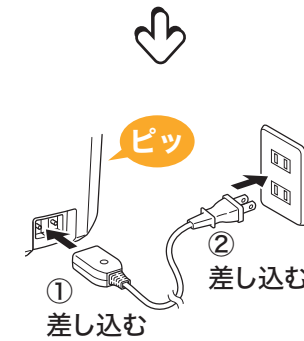
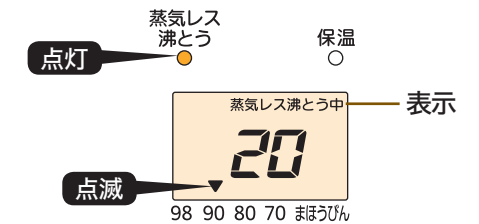
2 お湯がわいたら、約半量を電動給湯してお湯をすてる。→**P.14**

3 プラグ・ふたをはずして、残り湯をすてる。→**P.23**

お湯をわかす、保温を選ぶ、再沸とうさせる

コーヒーや紅茶、煎茶など、お茶の種類に合わせて保温が選べて便利。

1 ふたを開ける

2 水を別の容器で入れる

「満水目盛」以下、「給水マーク」以上に入れる。

3 ふたを閉め、プラグを確実に接続する

湯わかしがはじまる

水を入れて湯わかしする

約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があります。少しさめたお湯か水を入れるか、再沸とうさせる。→P.13

カラだき防止機能のはたらき

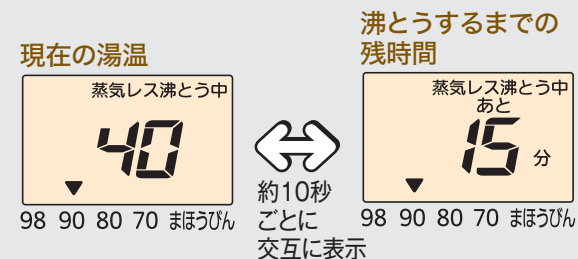
水が入っていなかったり、少量の水でわかしたり、勢いよく水を入れると、「ピピピ･･･」と音がして、蒸気レス沸とうランプと保温ランプが交互に点滅してお知らせし、湯わかしが止まります。→P.30

湯わかし中の表示

◆水量や水温によって、残時間が表示されはじめる時間が異なります。
◆お湯の温度は、5℃きざみに表示されます。（約98℃のときのみ「98」を表示）

現在の湯温

約10秒ごとに交互に表示

沸とうするまでの残時間

ご注意

◆水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
◆「満水目盛」を超えて水を入れたり、「給水マーク」より少ない水で湯わかししない。

お湯をわかす、保温を選ぶ、再沸とうさせる

コーヒーや紅茶、煎茶など、お茶の種類に合わせて保温が選べて便利。

4 保温選択または まほうびん を押して、保温を選ぶ

【98・90・80・70保温のとき】

保温選択 を押すごとに、保温が順に切り替わります。

90→80→70→98

【まほうびん保温のとき】

まほうびん を押す。

（キーを長く押さない。水量表示計のバックライトが消灯されます。→P.8）

もう一度押すと、保温選択温度に替わります。

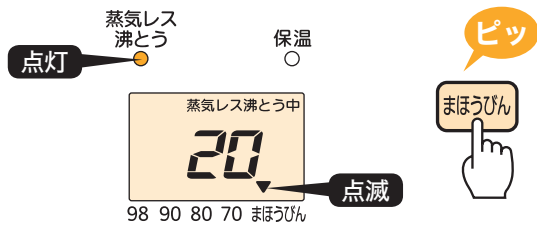
沸とうしたら、「ピー」と5回鳴る

自動的に保温

選択した保温温度になると

【保温中に保温を切り替えるとき】

保温選択 または まほうびん を押して選ぶ。

5 保温中に再沸とうさせるときは、再沸とう を1回押す

給水マーク以上のお湯が入っているか、確認してから押す。

保温は5種類から選べる

◆5種類の保温が選べます。（70・80・90・98保温の4通りとまほうびん保温）

◆まほうびん保温は、沸とう後、ヒーターが自動的にOFFになります。

◆湯わかし中でも保温中でも、保温が変更できます。

蒸気キャッチャー構造

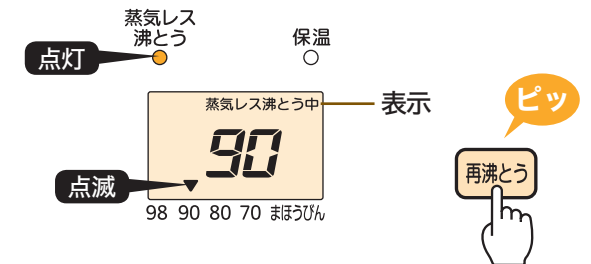
沸とう時、および再沸とう時は、蒸気キャッチャー構造により蒸気が本体の外に出ません。→P.2

使用中にプラグがはずれたとき

再度プラグを接続すると90保温になります。

まほうびん保温を選んだときは

水を入れても自動的に湯わかししません。

（再沸とう を押して沸とうさせる。）→P.13

沸とう時間・選んだ保温温度になるまでの時間の目安

		2.2タイプ	3.0タイプ
水から沸とうするまで		約24分	約30分
沸とうしてから	90保温になるまで	約3時間	約3時間20分
	80保温になるまで	約5時間20分	約6時間30分
	70保温になるまで	約8時間30分	約10時間10分

※水量：満水、水温・室温：23℃のときの参考値。

※98保温になるまでの時間の目安は、水から沸とうするまでの時間とほぼ同じです。

沸とう後の湯温の目安（まほうびん保温時）

時間の経過とともに、湯温が下がっていきます。湯量が少ないと、さめやすくなります。

	2.2タイプ	3.0タイプ
2時間後	約89℃	約92℃

※水量：満水、水温・室温：23℃のときの参考値。

※温度は5℃きざみで表示されるので、表示と実際の湯温は異なることがあります。

満水時に再沸とうするまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ
98・90保温	約4～8分	約4～9分
80・70保温	約8～11分	約9～13分

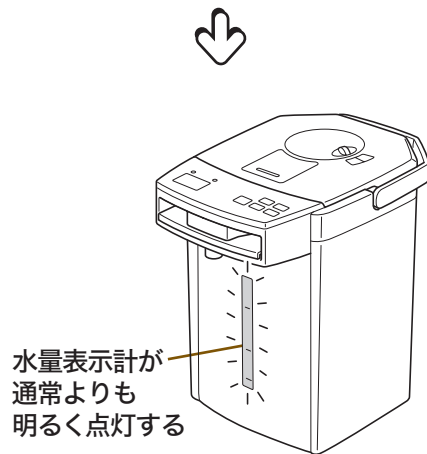
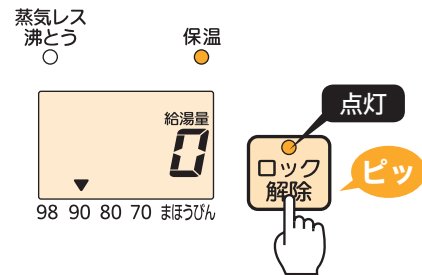
※水をつぎ足したり、プラグを接続し直したときは、さらに長くなります。

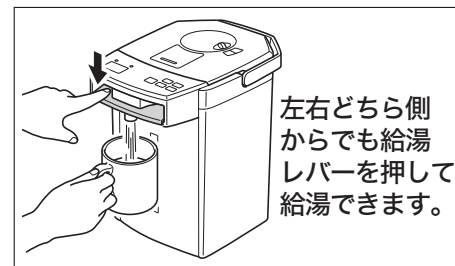
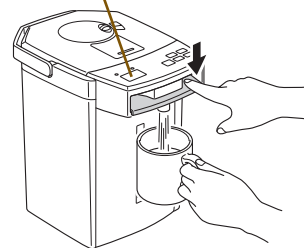
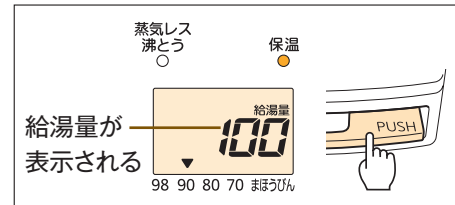
※まほうびん保温のときは、沸とうするまでの時間が変わります。

給湯レバーを押してお湯を注ぐ ― 電動給湯

左右どちら側からでも、指1本でらくらく給湯！お茶やコーヒーの味と香りが楽しめるのね。

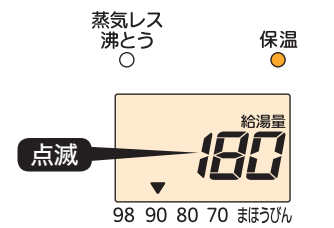
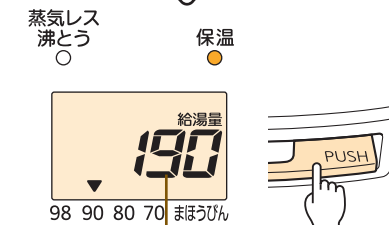
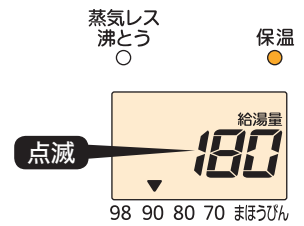
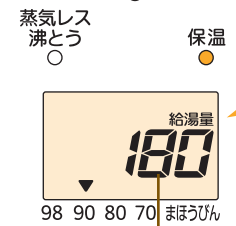
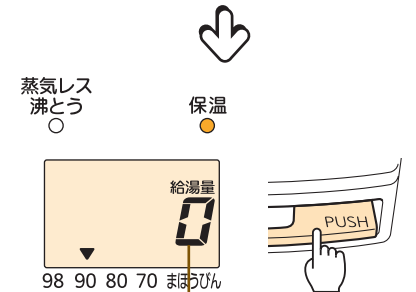
1 ロック解除を1回押す

ロックが解除されます。

2 容器を注ぎ口に合わせ、給湯レバーを押して注ぐ

◆約10mLから990mLまで10mLきざみで給湯量が表示されます。約990mLを超えると「給湯量0」に戻って表示が進みます。
◆押している間、お湯が出ます。表示部に給湯量が表示されます。
◆給湯レバーから指をはなし、注ぎ口からお湯が止まるのを確認してから容器をはなす。

3 ロック解除を1回押す

ロックされます。

給湯を一時中断したとき

【約2秒以内に再度押した場合】
指をはなすと…

【約2秒経過後、再度押した場合】
指をはなすと…

給湯量は目安

表示される給湯量は目安です。注がれる湯量を確認しながら、注意して給湯する。
（容器の容量によっては、あふれるおそれ。）

自動ロックについて

給湯後、約10秒間給湯レバーを押さなかった場合、自動的にロックされます。（ロック解除ランプが消灯。）

お湯が出にくいとき

◆沸とう直後は、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなることがあります。蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。
◆内容器やメッシュフィルター、本体内部のポンプが汚れていると、お湯が出にくくなります。クエン酸洗浄する。→P.25・26

お湯が少なくなったら必ず給水する

◆給水マークまで減る前に、必ず給水し、ふたを閉める。（蒸気に注意して、水を入れる。）→P.10
◆まほうびん保温中（プラグ接続状態）は、給水しても湯わかししません。→P.27

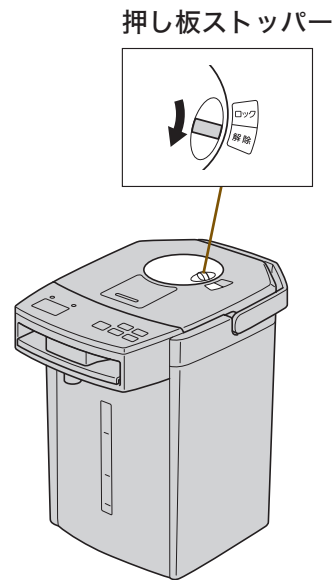
ご注意

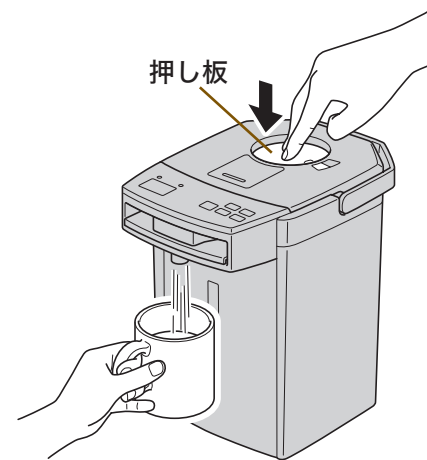
湯量が給水マークより少ないときは、給湯しない。お湯が飛び散るおそれ。

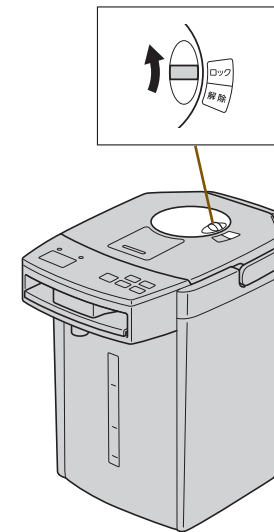
押し板を押して お湯を注ぐ ― エアー給湯

プラグを抜いてもお湯が注げるから、電源が届かない庭やバルコニーでもあったかいお茶が飲めるのね。

1 押し板ストッパーを「解除」位置にする

ロックが解除されます。

2 容器を注ぎ口に合わせ、押し板をゆっくり押して注ぐ

◆お湯の出具合は、電動給湯より多少、少なくなります。
◆押し板から指をはなし、注ぎ口からお湯が止まるのを確認してから容器をはなす。

3 押し板ストッパーを「ロック」位置にする

ロックされます。

コードレス給湯できる

プラグを抜いてもお湯が注げます。

お湯がさめたり、減ってきたとき

エアー給湯したときに出る湯量が減ってきます。

押し板はゆっくり押す

勢いよく押すと、お湯が飛び散ったり、出ないことがあります。

本体が回らないように給湯する

給湯中に本体が回ると、お湯が飛び散ります。

お湯が少なくなったら必ず給水する

◆給水マークまで減る前に、必ず給水し、ふたを閉める。（蒸気に注意して、水を入れる。）→P.10
◆まほうびん保温中（プラグ接続状態）は、給水しても湯わかししません。→P.27

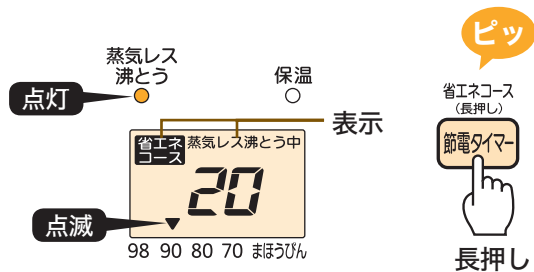
ご注意

◆湯量が給水マークより少ないときは、給湯しない。お湯が飛び散るおそれ。
◆電動給湯とエアー給湯を同時に行わない。やけど・故障の原因。

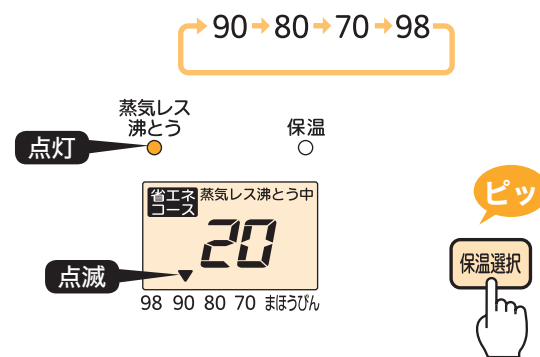
省エネコースにセットして、省エネ湯わかし、省エネ保温する

蒸気の量をおさえた省エネ湯わかしと、使わないときに設定温度より約5度下げる省エネ保温で、電気代が節約できるのね。

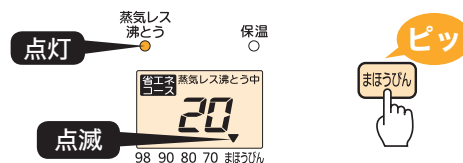
1 節電タイマーを長押し（約1秒）して、省エネコースを選ぶ

キーを長押し（約1秒）しないと、節電タイマーになります。→P.20

2 保温選択またはまほうびんを押して、保温を選ぶ

【98・90・80・70保温のとき】

保温選択を押すごとに、保温が順に切り替わります。

【まほうびん保温のとき】

まほうびんを押す。

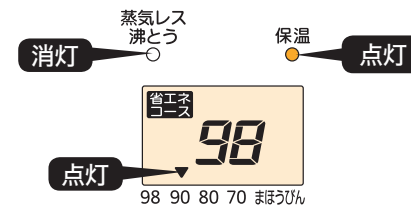
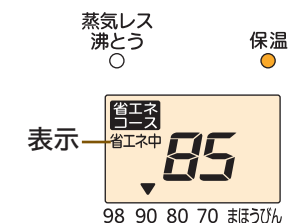
（まほうびん保温は、湯わかし後、ヒーターが自動的にOFFになります。）

もう一度押すと、保温選択温度に替わります。

湯わかしが終了したら、「ピー」と5回鳴る

自動的に保温

選択した保温温度になると

【保温中に保温を切り替えるとき】

保温選択またはまほうびんを押して選ぶ。→左記2

2時間以上使わないときは自動的に省エネ保温（設定温度より約5℃下げて保温）

【まほうびん保温のとき】

ヒーターがONにならないので、お湯が冷めていくだけです。

省エネコースのしくみ

- ◆省エネコースを選ぶと、省エネ湯わかしと省エネ保温を行います。
- ◆省エネ湯わかしは、沸とうする前にヒーターを切り、保温します。湯わかし終了時の湯温は約98℃です。
- ◆省エネ保温は、2時間以上キー操作しなかったときに、設定温度より約5℃下げて保温します。（98保温のときの省エネ保温は、95保温になります。）

省エネ保温中にキー操作をすると発生する音

「ゴー」という音は、湯温を設定温度に戻すために、自動的に湯わかしをする音です。→P.27

省エネコースを解除するときは

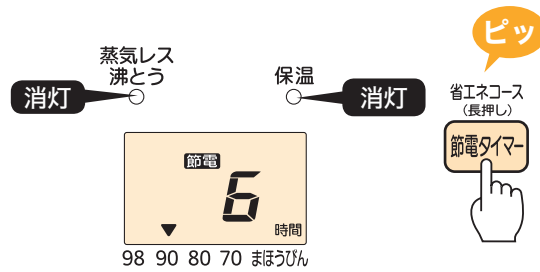
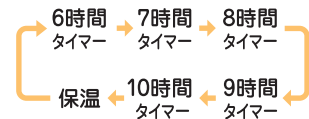
節電タイマー/省エネコースを長押し（約1秒）する。（湯温が低いときは、自動的に湯わかしをはじめます。）

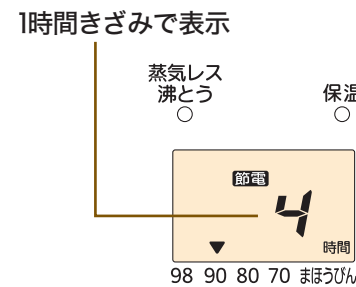
省エネ保温中の湯温をもとの設定温度に戻すときは

保温選択またはロック解除を1度押す。

（約1分で、もとの設定温度に戻ります。）

寝る前や外出前に節電タイマーをセットする

省エネコース(長押し) 節電タイマーを押して、節電時間を表示させる

押すごとに時間が切り替わります。
表示部で確認しながら合わせる。
(節電タイマーがセットされます。)

※キーを長く押さない。省エネコースに切り替わります。→P.18

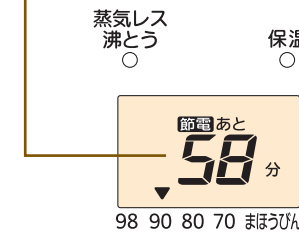
終了までの時間を1時間きざみで表示

1時間きざみで表示

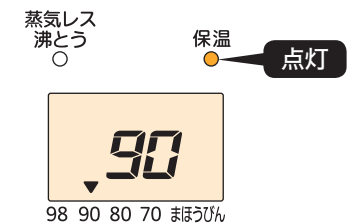
終了の1時間前になると、湯わかしがはじまり、59 ~ 1分まで分きざみで表示

1時間前になると
湯わかしがはじまり
分きざみで表示

蒸気レス沸とう 保温

節電 あと 58 分

98 90 80 70 まほうびん

湯わかしが終了すると、自動的に保温

設定されている保温で、保温します。
(ピーピー…という音は鳴りません。)

節電タイマーのしくみ

◆6時間から10時間まで1時間きざみで5段階に設定できます。
◆セットすると、ヒーターが自動的にOFFになり、まほうびんで保温します。

湯わかし中でも保温中でもセットできる

湯わかし中･保温中のどちらでもセットできて便利です。

まほうびん保温設定時はセットしない

ヒーターがONにならないので、お湯が冷めていくだけです。

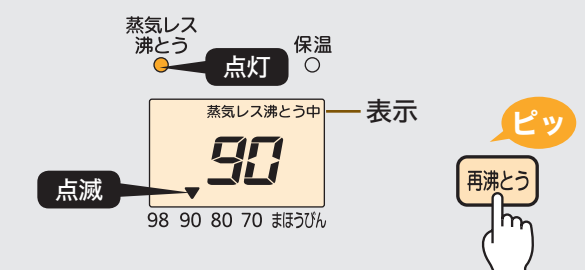
セットすると使えない操作・機能

電動給湯

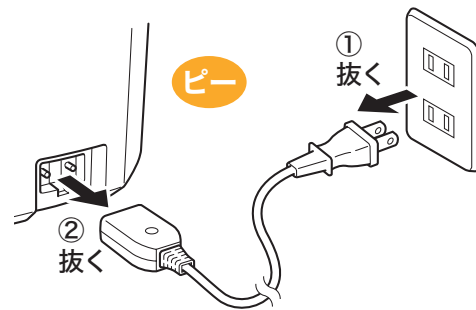
セットすると水量表示計は消灯する

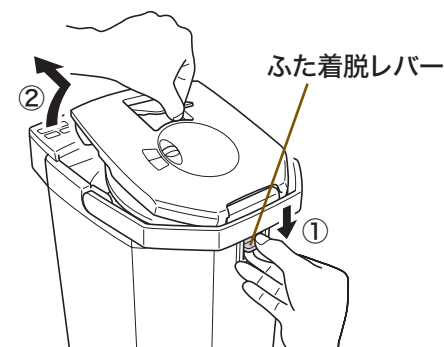
節電タイマーの作動中は、水量表示計が消灯しています。

節電タイマーを解除してお湯をわかすときは

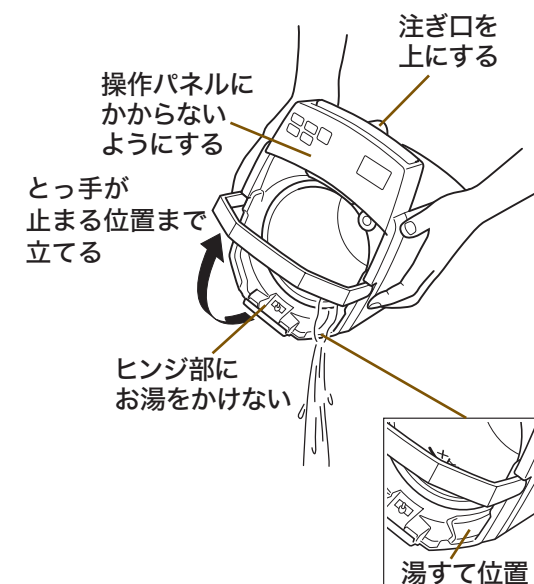
再沸とうを押して、蒸気レス沸とうランプを点灯させる。(湯わかしをはじめます。)

使わないときはお湯をすてる

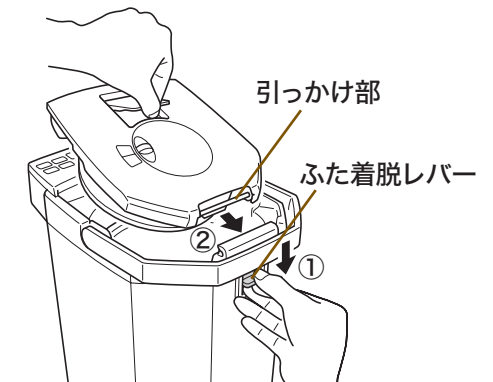
いつもおいしいお湯がわかせるように、使わないときは、プラグとふたをはずして、残り湯をすてるといいのね。

1 プラグをはずす

2 ふたをはずす

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたを注ぎ口側に引くように開けてはずす。

3 残り湯をすてる

お湯が飛び散らないように、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけて、ゆっくりとすてる。

※必ずとっ手を止まる位置まで立てておいてからすてる。

4 ふたをつける

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたの引っかけ部を差し込む。

内容器にお湯を残さない

内容器が変色したり、においの原因になるので、残り湯はすてる。

必ず湯すて位置からすてる

別の位置からすてると、故障、やけどの原因。

使用後はお手入れする

内容器・メッシュフィルターは、こまめにお手入れする。
→P.24

ご注意

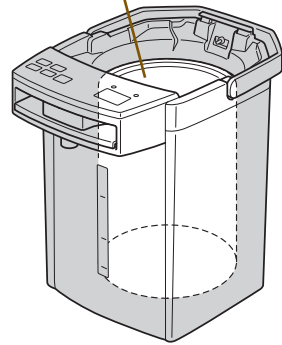
- ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
- メッシュフィルターの取りつけが不充分な場合、お湯をすてたときに抜け落ちることがあるので注意する。
- お湯をすてた後は、注ぎ口からしずくが落ちることがあるので注意する。

お手入れする

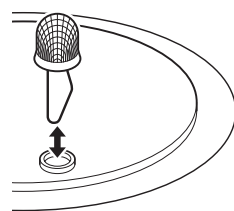
こまめにお手入れして、清潔・長持ち!

◆プラグをはずし、冷えてからお手入れする。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

こまめにお手入れする箇所・部品

内容器

1 メッシュフィルターをはずす。→下記

2 内容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、スポンジでふき取った後、すすぐ。（外側はぬらさない。）

メッシュフィルター

1 水またはぬるま湯で、やわらかい歯ブラシなどを使って洗う。（目づまりすると、お湯が出にくくなります。）

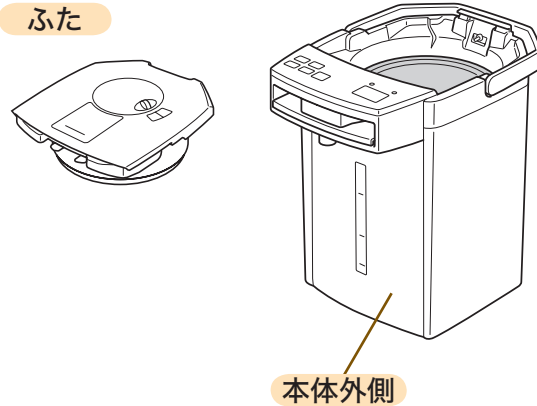
2 内容器に必ず取りつける。

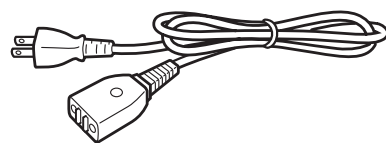
ご注意

◆洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
◆食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。
◆カラだきによる内容器の変色は取れません。

汚れるたびにお手入れする箇所

ふた

本体外側

よくしぼったフキンでふき取る。

電源コード

乾いた布でふく。

ご注意

水につけたり、水をかけたりしない。

ミネラル成分について

水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が、内容器に付着して下記のようになることがありますが、有害ではありません。
汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。
→下記

- 内容器に、サビのような赤いはん点ができた。
- 内容器が乳白色・黒色・虹色などに変色した。
- お湯に白い浮遊物が浮く。

ミネラル成分が付着してきたら内容器のクエン酸洗浄をする（2～3カ月に1回の目安）

1 メッシュフィルターが内容器についているか確認する。→P.8

2 クエン酸 約30g（大さじ2 ～ 3杯）を内容器に入れる。

3 満水目盛まで水を入れてまぜ、ふたを閉める。（お湯は入れない。）→P.10

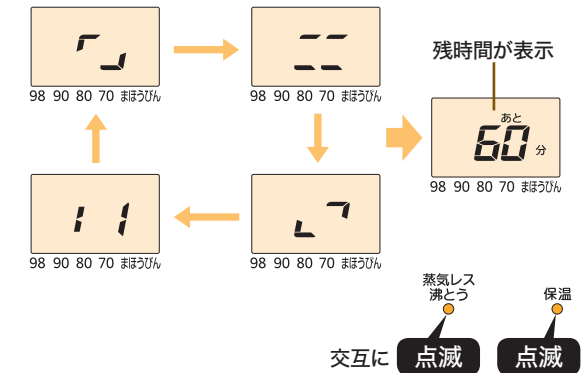
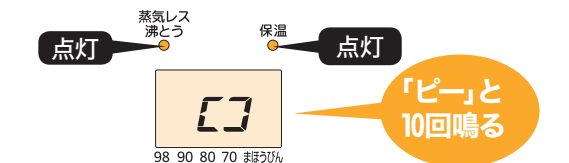
4 プラグを接続し、再沸とうと保温選択を同時に約3秒間押し続ける。
※洗浄中は、電動給湯以外の操作や機能は使えません。

同時に
約３秒間押す

洗浄中〈洗浄時間の目安：約1時間30分*〉

*水温により異なる

洗浄終了

点灯
蒸気レス沸とう
保温
点灯
98 90 80 70 まほうびん
「ピー」と10回鳴る

5 電動給湯してお湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出し、すてる。（電動給湯すると「ピピピ…」と音がします。）

6 汚れが残っているときは、スポンジでこすり落とす。（落ちにくいときは、再度クエン酸と水を入れて同じ操作をする。）

7 クエン酸の残り水を取るために、水だけで通常どおりにわかし、約半量を電動給湯してから残りのお湯をすてる。
→P.10・14・23

ご注意

◆内容器・メッシュフィルターは、こまめにお手入れし、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.28
ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯わかし中の音が大きくなる原因。
◆ミネラルウォーターや、アルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を湯わかししたときは、よりこまめにお手入れする。付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯の出口や蒸気取込口をふさぎ、故障の原因。

ご注意

◆洗浄中はふたを開けない。
◆クエン酸洗浄を途中で解除するときは、プラグをはずす。通常どおりお湯をわかすときは、必ずお湯（クエン酸の液）をすててから使う。

お手入れする

お湯が出ないときは、ポンプのクエン酸洗浄をする（半年に1回の目安）

1 メッシュフィルターをはずす。→**P.24**

2 クエン酸　約30g（大さじ2 ～ 3杯）を、コップ1杯のお湯（約200mL）で溶かし、内容器の底の穴に入れてふたを閉め、そのまま約2時間放置する。

3 内容器の1/3まで水を入れ、ふたを閉めてお湯をわかす。（90保温を選ぶ）→**P.10**

4 90保温の状態で、2 ～ 3時間放置する。

5 電動給湯してお湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出し、すてる。

6 プラグをはずし、冷めてから、内容器をスポンジで水洗いする。

7 クエン酸の残り水を取るために、水だけで通常どおりにわかし、約半量を電動給湯してからお湯をすてる。
→**P.10・14・23**

8 冷めてから、メッシュフィルターを取りつける。→**P.24**

長期間使わないとき

1 P.24の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。

2 各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）

3 虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→**P.33**」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）
品番	PKS-0120

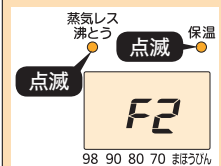
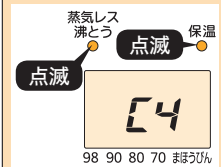
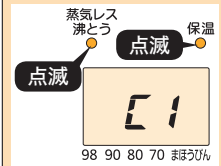
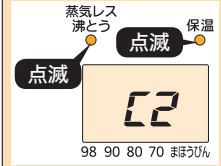
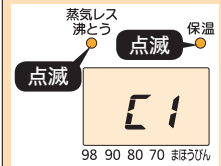
※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
お湯をわかすとき	お湯がわかない。（すべてのランプがつかない。表示がすべて消えた。）	電源コードがはずれていませんか。	プラグを接続する。	11
	水を入れても、湯わかしがはじまらない。（蒸気レス沸とうランプに切り替わらない。）	約50℃以上のお湯を入れていませんか。約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があります。	少しさめたお湯か水を入れる。または、再沸とうを押して沸とうさせる。	10・13
		「まほうびん保温」を選んでいませんか。まほうびん保温中は、水を入れても自動的に湯わかしをしません。	再沸とうを押して沸とうさせる。	12・13・15
	給湯していないのに、お湯が勝手に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以内にする。	10・11
		通気孔および通気弁をふさいでいませんか。	異物がつまっている場合は取り除く。	6
	「ゴー」という音がする。	「ゴー」という音は、湯わかし中に発生する泡がはじける音です。		
		省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中にキー操作をすると、設定温度に戻すために自動的に湯わかしをします。そのときに発生する泡の音です。		18
	「ゴー」という音がいつもより大きい。	内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。	クエン酸洗浄をする。	25
	沸とうしない。	省エネコースを選んでいませんか。省エネ湯わかしをしているため、約98℃で湯わかしを終了します。	省エネコースを解除して、再沸とうを押して沸とうさせる。	13・18・19
	蒸気が出ない。	蒸気キャッチャー構造により、蒸気が本体の外に出ません。		2・12
	注ぎ口付近から蒸気が出る。	給水やお手入れをするときに、本体内部に水が入って故障しています。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		
においがするとき	お湯がにおう。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	再沸とうを押して沸とうさせた後、蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉める。	13
		省エネコースを選んでいませんか。省エネ湯わかしをしているため、約98℃で湯わかしを終了します。	省エネコースを解除して、再沸とうを押して沸とうさせる。	13・18・19

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
においがするとき	お湯がにおう。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
		樹脂製のお盆、ビニールシートなどの敷物の上で使っていませんか。お湯に敷物のにおいが移ることがあります。		
保温中	本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。		
本体の不具合	内容器が汚れている。（お湯に白い浮遊物が浮く。）	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	クエン酸洗浄をする。	25
	プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
給湯するとき	お湯がぬるい。	省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中は設定温度より約5℃下げて保温します。	[保温選択]または[ロック解除]を押すと、約1分でもとの設定温度に戻ります。	19
		「まほうびん保温」を選んでいませんか。まほうびん保温中は、時間の経過とともに湯温が下がっていきます。	他の保温を選ぶ。または、[再沸とう]を押して沸とうさせる。	12・13
		湯量が少ない状態で、「まほうびん保温」をすると、さめやすくなります。		13
		1杯目のお湯は、水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなることがあります。		
	電動給湯時にお湯が出ない、出にくい。	沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。	14
		本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにして、給湯する。	
		プラグがはずれていませんか。	プラグを接続する。	11
		ロックされていませんか。（ロック解除ランプが消灯）	[ロック解除]を押してから、給湯レバーを押す。	14
		内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出なくなります。	クエン酸洗浄をする。保証期間内でも水などの成分により、お湯が出なくなった場合は、有償修理になります。	25・26

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
給湯するとき	エアー給湯時に、お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにして、給湯する。	
		ふたパッキンがはずれていませんか。	ふたパッキンを正しくつけ直す。	32
		ふたパッキンが傷んでいませんか。	新しいふたパッキンと交換（有償）する。	32
		お湯がさめたり、量が少なくなると、エアー給湯したときに出る量が減ってきます。		16
ランプや表示、キー操作、音の不具合	音が鳴らない。	節電タイマーのセット後は、湯わかし終了の音は鳴りません。		21
	[再沸とう]を押すと、「ピピピ」と音が鳴って再沸とうしない。	沸とう直後に、[再沸とう]を押していませんか。	しばらくしてから再沸とうさせる。	13
	電動給湯中に下図のように表示される。 （蒸気レス沸とう　保温　給湯量　– –　98 90 80 70 まほうびん）	お湯がなくなっていませんか。	水を入れて湯沸かしする。	10
		沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。	10・11 14
		内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れていると、正しく表示されない場合があります。	クエン酸洗浄後、電動給湯してお湯を全部注ぎ口から出し、すてる。	14・25 26
	表示部がくもる。	水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置きませんでしたか。	水をすて、プラグを接続せずにくもりがなくなるまで放置する。 くもりが取れない場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	
		本体をさかさにして置きませんでしたか。		
		給水するときに、操作パネルに水をかけませんでしたか。		

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
ランプや表示、キー操作、音の不具合	カラだき防止機能がはたらき、「ピピピ…」と音がして、蒸気レス沸とうランプと保温ランプが交互に点滅し、下図のように表示される。 蒸気レス沸とう 点滅 / 保温 点滅 F2 98 90 80 70 まほうびん	カラ、または、少ない水量で湯わかしをしていませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れてふたを閉め、しばらくしてからプラグを接続する。	10
		お湯を使いきったまま長時間放置したり、ふたを開けたままで放置していませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れてふたを閉め、しばらくしてからプラグを接続する。	10
	蒸気レス沸とう 点滅 / 保温 点滅 C4 98 90 80 70 まほうびん	水をつぎたしたときに、勢いよく入れませんでしたか。	プラグを抜き、しばらくしてからプラグを接続する。	10
	「ピピピ…」と音がして、蒸気レス沸とうランプと保温ランプが交互に点滅し、下図のように表示される。 蒸気レス沸とう 点滅 / 保温 点滅 C1 98 90 80 70 まほうびん 蒸気レス沸とう 点滅 / 保温 点滅 C2 98 90 80 70 まほうびん	給水やお手入れをするときに、本体内部に水が入って故障しています。 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		

仕様

サイズ		2.2タイプ	3.0タイプ
定格容量		2.2L	3.0L
電源		交流100V　50-60Hz	
湯わかし時の消費電力		700W	700W
年間消費電力量*1		211kWh/日	249kWh/日
1日当りの消費電力量		0.58kWh/日	0.68kWh/日
外形寸法*2 (とっ手を倒した状態)	幅	21.8cm	21.8cm
	奥　行	30.8cm	30.8cm
	高　さ	27.9cm	31.9cm
質量*2(電源コードを含む)		3.3kg	3.5kg
温度過昇防止装置(温度ヒューズ)		152℃	
コードの長さ*2		1.0m	
電動ポンプの消費電力*2		1.5W	

*1 日本電機工業会自主基準による測定（室温23度、湯わかし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90度で23時間/1日、365日/年間、その他水量等の試験条件：日本電機工業会自主基準HD-112に基づく）
*2 おおよその数値です。
※特定地域（高地・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

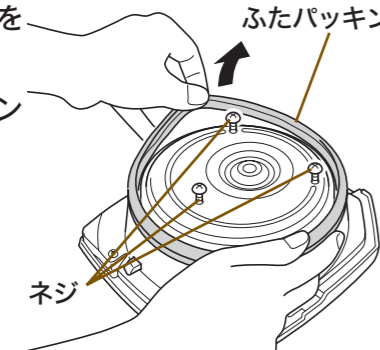
◆ふたパッキン（消耗品）

1年を目安に確認し、下記のようになってきたら交換する。
（倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。）
・白く変色した。
・汚れや破損がひどくなった。
・ふたのすき間から蒸気がもれ出した。

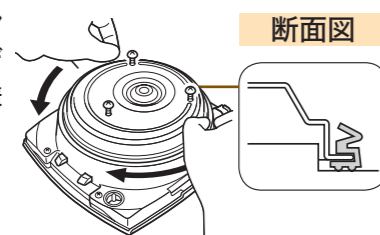
部品番号	PVP1064

◆樹脂部品・その他のパッキン類（傷んできたとき）

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので、交換する。（有償修理）

◆メッシュフィルター（消耗品）

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても、汚れが取れないときは交換する。
メッシュフィルターのはずしかた・つけかた→P.24

部品番号	PVH1045

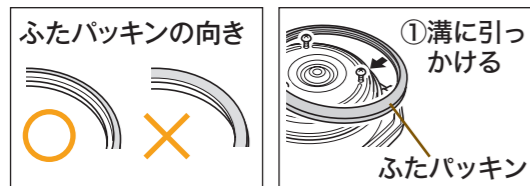
ふたパッキンの交換のしかた

はずしかた

1 ネジ（3本）をゆるめる。

2 ふたパッキンをはずす。

つけかた

1 新しいふたパッキンを、せん内ふた外周にきっちりとはめ込む。

ふたパッキンの向き

②ふたパッキンを指でなぞるように溝にはめ込む

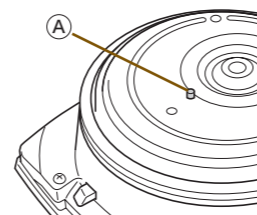
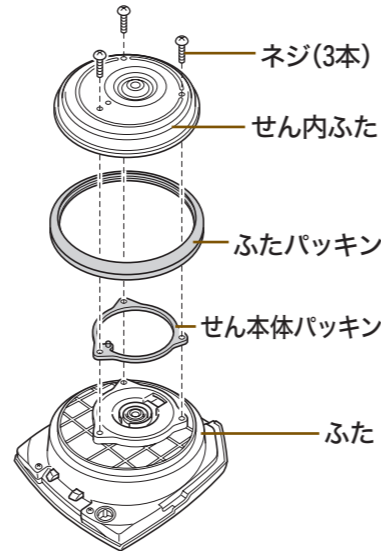
確実にはまっていることを確認する

2 ネジ（3本）を確実に締めつける。

ご注意

◆せん内ふたなどの部品を、ふたからはずさない。蒸気もれの原因。
はずれてしまったときは、下図のように正しく取りつける。

必ずこのイラストの通りの方向でセットする。
（間違うとお湯がふきこぼれ、やけどをするおそれ）

◆内部のパッキン類、成形品の傷み具合は、せん内ふたをはずさなくても図のⒶの突起部が外観から見て傷んできたときが、交換の目安です。お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口にてお問い合わせください。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら→P. 27～30」をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内	・・・おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証期間を過ぎているとき	・・・まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。 ①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 電気ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料	・・・不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。
部品代	・・・製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）

※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ
TEL(06)6906-2121

●受付時間　AM9:00～PM5:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス http://www.tiger.jp/
消耗品・別売品のご購入ホームページ　http://www.tiger.jp/shop.html